

事例

郷土料理の伝承を通じた地域づくり
(第7回食育活動表彰 消費・安全局長賞受賞)きょうつ はた
京津畑自治会 (岩手県)

京津畑自治会では、自治会員が一丸となって郷土料理の伝承や活力ある地域づくりに取り組んでいます。“なつかしい山里食の再発見”をテーマに「京津畑まつり「食の文化祭」(以下「食の文化祭」という。))」を長年に渡って開催し、子供から高齢者まで自治会の幅広い世代が参加し、郷土料理を調理して出展し、来場者への普及啓発を図りながら、一関地方に古くから伝わる郷土料理の伝承活動を行っています。

約40世帯、人口120人の小集落が約1,000人の人出で賑わう「食の文化祭」は、秋の「風物詩」と言われるようになり、メディアにも取り上げられています。

「食の文化祭」をきっかけに起業した女性中心の郷土食の加工グループ「やまあい工房」は、活動を20年間続けており、郷土料理を工夫して発展させた弁当や惣菜の加工販売、高齢者世帯への配食サービス、小・中学校への出前講座等、多様な食の活動で地域に活力をもたらしています。

また、「食の文化祭」を継続していく中で、かつての山里の食が再び脚光を受け、さらに現代風にアレンジされ、若い世代にも「新鮮な食事」として見直されています。

今後も、未来につなぐ郷土料理の伝承と地域づくりに貢献していきます。



多くの人で賑わう「食の文化祭」



「やまあい工房」による郷土食講習会

第6章

食文化の継承のための活動の支援等